

花壇ボランティア活動マップ

花の植え替えだけでなく、水やりや公園の美化もしてくださっています。



環境美化サポーター 杉山さんに聞きました

Q花壇ボランティア活動を始めたきっかけは？

A2002年小長久保公園で花壇を主体にしたコニファーガーデンを設計する際に、小金井市ではまだ花壇ボランティアが無かったため、花壇ボランティア「グリーンサム小金井」を組織し活動を始めました。

Q活動でのうれしいこと・大切なことは？

A嬉しいことは、花壇ボランティアの数が徐々に増えていることです。当初私が「小金井市を花の咲くガーデンシティにしましょう！」との呼びかけに集まった市民の輪が大きくなっている証です。

小金井市をガーデンシティにするためには、私達の活動がそのまた次の世代へと引き継がれ一つの園芸文化として定着する事が大切です。

活動に興味のある方は緑と公園係まで

令和3年度環境調査結果

調査結果の詳細は、環境政策課（市役所第二庁舎4階）、情報公開コーナー（同6階）、図書館本館、議会図書室（市役所本庁舎4階）でご覧いただけます。

道路交通騒音・振動測定結果

五日市街道、小金井街道、連雀通り、新小金井街道、東八道路、東大通りで令和3年11月に測定しました。

【騒音】

昼夜の各時間帯で、環境基準および要請限度を超過した地点はありませんでした。

【振動】

昼夜の各時間帯で、要請限度以下でした。

道路交通騒音・振動測定結果

	騒音 (dB)				振動 (dB)					
	環境基準		要請限度		要請限度		測定結果			
	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間		
五日市街道					64	62		41	37	
小金井街道					61	58		40	33	
連雀通り					68	64		48	42	
新小金井街道	70	65	75	70	67	65	65	60	43	39
東八道路					65	61		45	38	
東大通り					60	54		38	29	

※環境基準＝人の健康の保護に資する上で維持されることが望ましい値
※要請限度＝道路管理者に対し、舗装や修繕の措置を要請する値

大気汚染状況測定結果

市内の大気汚染状況を把握するために、浮遊粒子状物質および二酸化窒素濃度を2月に3日間測定しました。

また、ダイオキシン類の調査も夏季、冬季に実施しました。

【浮遊粒子状物質】

2か所で3日間測定し、いずれも環境基準値以下でした。

3日間平均値は、武蔵小金井駅前交番が0.012mg/m³、新小金井交番が0.019mg/m³でした。

※環境基準値は1時間値の1日平均値が0.1mg/m³以下です

【住宅地域の二酸化窒素】

フィルターバッジによる31か所の3日間連続測定平均値は、0.011ppmで、すべての地点で環境基準値以下でした。

※環境基準値は1時間値の1日平均値が0.04～0.06ppm内、またはそれ以下です

【交差点・沿道地域の二酸化窒素】

フィルターバッジによる19か所の3日間連続測定平均値は、0.016ppmで、すべての地点で環境基準値以下でした。

【ダイオキシン類】

令和3年8月23日～24日および2月8日～9日に各24時間測定を実施しました。

その結果、夏季・冬季とも環境基準値以下でした。

ダイオキシン類調査結果 (環境基準値：0.6pg-TEQ/m³)

調査地点	令和3年8月23日～24日	2月8日～9日
東センター	0.013pg-TEQ/m ³	0.019pg-TEQ/m ³
保健センター	0.012pg-TEQ/m ³	0.029pg-TEQ/m ³
平均値	0.013pg-TEQ/m ³	0.024pg-TEQ/m ³
令和3年度平均値	0.018pg-TEQ/m ³	

※pg (ピコグラム) = 1兆分の1グラム
※TEQ (ティーイーキュー) = 毒性等量 (TOXICEQUIVALENTS) の略で、ダイオキシン類の量を、最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-p-ダイオキシンの毒性に換算した値

水質の調査結果

【井戸水・有機塩素系化合物と鉛】

有機塩素系化合物3項目と鉛の調査を井戸水13地点で年4回行いました。

調査結果は、有機塩素系化合物2項目が検出された地点がありましたが、いずれも環境基準を超える調査項目はありませんでした。

【野川の水質】

野川の水質調査は、令和3年6月と11月に市内最下流の柳橋で、環境基準値が定められている生活環境項目と健康項目について調査を行い、いずれも環境基準値以下でした。

【湧水の水質と水生生物】

貫井神社、滄浪泉園、美術の森緑地、中町4丁目公共緑地の4地点で令和3年6月と12月に湧水の水質と水生生物の調査を行いました。

調査結果は、すべての項目で環境基準値以下でした。

水生生物の調査結果は、サワガニ、ニンギョウトビケラなど、きれいな水の指標種も確認されていることから、比較的良好な水質が保たれているものと考えられます。